



千葉大学ユニオンニュース 第63号 2011年4月4日

編集・発行：千葉大学ユニオンニュース委員会

千葉大学ユニオン事務局：西千葉キャンパス総合校舎G号館401室 メールアドレス：cuu@e-mail.jp
電話・FAX：043-290-2234 FAX専用：020-4666229 ☆職場でお気づきのこと、質問、ご意見をお寄せください。
ホームページ：<http://www.age.cc/~cuu/> 最新のニュースがご覧いただけます。千葉大学ユニオン掲示板：
(<http://218.45.28.246/chibaunion-bbs/unionbbs.cgi>) 学内から書き込みができます。

東北関東大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。 大震災義援募金にご協力をお願いします。

東北関東大震災義援募金にご協力を

3月11日に発生した東北関東大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

千葉大学ユニオンでは、少しでも被災者の方々のお役に立ちたいと考え、日本赤十字社を通じて義援金を送りたいと思います。これは、2004年スマトラ沖地震などに対して行ってきたユニオン結成以来の活動です。

義援金は、各部局事務室等に置いてある募金箱に入れていただくか、ユニオン執行委員にお渡し下さい。4月20日をメ切とし、募金の結果については、ユニオンニュース等で公表します。ご協力よろしく申し上げます。

就業規則改定及び地震対応に対する申し入れ

(1) 就業規則改定案について

2月24日、大学より、本年4月からの就業規則改定案が示されました。この改定案では、大きく3つ重要な変更があります。

①病気休暇制度の短縮：職員の病気休暇制度について、現在の就業規則では、職員が6か月間、病気休暇を取得すると病気休職に移行することとされています。これに対して、新規則では、人事院規則の変更に合わせて、病気休暇が90日に達した後、病気休職となり、約3か月間、病気休暇期間が短縮されます。

②プロジェクト雇用の非常勤職員の再雇用制限：新しい非常勤職員就業規則では、特定の計画に基づく有期の研究で雇用された非常勤職員が、他の計画に基づく研究では雇用できないこととなります。

③ハラスメント防止規程の変更：新しいハラスメント防止規程には、相談を受けたハラスメント相談員が、原則として相談者の所属する部局長に報告するとの規定が盛り込まれています。

以上の就業規則等の改定案に対し、千葉大学ユニオンでは、改定案の内容などを確認するために、3月11日に協議を申し入れ、3月23日に協議を行いました。その内容を踏まえて、現在、今後の団体交渉を検討しています。

(2) 地震対応に対する申し入れ

東北関東大震災を受けて、ユニオンでも、①義援金の募金箱の設置などに伴う大学の協力、②被災学生などへの大学としての支援措置、③災害対応に伴う職員の超過勤務、休日勤務等に対する手当の確実な支給、④海洋バイオシステム研究センターでの津波等への対策などを要請しました。なお、非常勤職員が震災・計画停電などの影響による交通機関の運休などで、出勤が困難となった場合には、非常勤職員就業規則15条により、有給の特別休暇が付与されることの説明が職員課より、ありました。該当される方は、ご確認ください。

退職される方から一言

退職にあたって：2つの課題 伊藤谷生（理学部支部）

3月11日の東北・関東大震災は退職する私に深刻な衝撃を与え続けている。その中から私にとって2つの重大な課題が浮かび上がる。

第1は、地球科学研究者としての責任である。実は2007年の段階で、今回のような巨大津波（貞観津波）がかつて東日本太平洋側に襲来したこと、巨大津波の襲来周期は平均約1000年であることが産総研の研究者達によって明らかにされていた。貞観津波が9世紀後半であることから、既にそのような津波がいつ襲来してもおかしくない状況であったのである。なぜこの研究結果が防災政策として活かされなかったのか、私自身がそれをどのように活かそうとしたのか、が問われなければならない。私にとっては津波や海溝型地震が直接の研究対象でないとはいえ、現在の地殻変動研究に関わっている以上、自らの姿勢を厳しく見つめ直さねばならない。そして地球科学界全体の問題として経緯を厳密かつ深刻に検証・総括する必要があると考える。

第2は、被災した学生・院生諸君の教育と研究、さらに被災した諸大学の復興を全国の大学連携態勢で支えるという課題である。だがそれは、文科省がその前身の文部省以来一貫して進めてきた大学の種別化政策、その具体化として大学側に強要している「機能別分化」では実現できない。そもそも種別化や機能別分化は、全国の大学を序列化し、学問研究や教育、そして個々の大学の自由な発展を阻害するとして大学側が批判し続けてきたことである。しかし一方で特に法人

化以降、大学側は個別利益に目を奪われ、高等教育全体をどう発展させるかについての議論と実践が著しく貧弱であり、そのことが大学コミュニティを崩壊させ種別化や機能別分化への道を容易にしている。今回の未曾有の危機に際して、大学側はこれまでの弱点を真摯に反省し、被災学生の単位互換、実験や実習の相互乗り入れ、勉学施設の提供などを国公私立の枠を越えて全国連携で取り組むとともに、その中で自らの主体的イニシアティブによって大学コミュニティの構築に向かう必要がある。

私は4月より都内の私立大学で仕事を続けるが、その中で2課題達成のために微力を尽くしたいと思っている(2011年3月28日記)。

退職教職員の歓送会、盛会のうちに終わる

3月10日午後6時から、生協Wissenで、3月末をもって退職される教職員の歓送会が、ユニオン主催で実施されました。退職予定者のうち5名が臨席くださり、20名を越える出席者が、これらの方々を囲んで歓談を楽しむことができました。

また、長年の経験に基づく様々な思いを「退職にあたっての一言」として、5名全員に熱く語っていただきました。みな、われわれ後進の参考となり、励みとなる内容でした。キャンパスを離れられても、また様々な形で、大学やユニオンに対するご助言ご助力をいただきたいものです。

また、当日の午後4時から、教員有志主催による「退職者にお話を伺う会」も開かれました。講師を快諾くださった伊藤谷生さん(理学研究科)は、千葉大学ユニオンの歩みを戦後60年の長いスパンにわたって整理され、その歴史を振り返るとともに、今後の活動の課題や方向性を示唆くださいました。委員長を歴任された伊藤さんならではのご提言に、学ぶところが多い会でした。



ユニオン掲示板に寄せられたご意見 【千葉大学ユニオン掲示板を活用しましょう】

書き込みができる「千葉大学ユニオン掲示板 (<http://218.45.28.246/chibaunion-bbs/unionbbs.cgi>)」へ、いくつかご意見を頂いておりますのでご紹介をさせていただきます。(1) 各国立大学法人は、人勸に準拠するのをやめていただきたい。(2) 工学研究科の研究科長選挙がありました。助教・助手には投票権がありません。学長選挙では、助教・助手にも投票権があります。何か不思議な気がします。皆様のいかが思われますか?

千葉大学ユニオンは、教職員の皆さまの多数から成るご意見を執行委員会を中心となって大学経営側へ伝え、議論および交渉をして参ります。つまり、千葉大学ユニオンは皆さまの多数から成るご意見を裏付けにして活動を致します。

是非、「千葉大学ユニオン掲示板」へ多くのご意見を賜りますようお願いを申し上げます。新たなご意見はもとより、頂いておりますご意見へのご賛同やコメントをお待ち致します。

放射線に関する勉強会を開催します

放射線について、基本的なところから今関心が寄せられている範囲にわたる勉強会を学内の数名の専門家を招いて行います。会場で質問もお受けいたします。関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

日時：4月8日(金)17:45～

場所：工学部15号棟110教室

詳細は、ユニオンHPをご覧ください。

◎ ユニオンのおもな活動報告 ◎

2月10日 第8回 執行委員会

3月8日 第9回 執行委員会

3月10日 退職者歓送会

3月11日 「就業規則改正」などについての「協議申し入れ」

3月14日 地震対応に対する申し入れ

3月16日 地震対応に対する申し入れ(2)

3月23日 「協議」(3月11日申し入れに対する回答。また14、16日分についても回答を得た)。

編集後記 ユニオンニュース63号をお届けします。3月11日の東北関東大震災による影響で多少遅れての発行となりました。紙面に掲載したように、義援募金や放射線に関する勉強会を行いますので、ご協力をお願い致します。また、ユニオンに対するご意見をE-mailや掲示板でお寄せください。

加入申込書

電話・ファックス:043-290-2234

千葉大学ユニオン委員長 早乙女英夫 殿

千葉大学ユニオン規約を承認し、千葉大学ユニオンに加入します。2011年 月 日

ご氏名:

ご所属: